

会 報

平成11年度第5回日本公衆衛生学会理事会議事録

- I 日 時 平成11年10月19日(火)11:00~12:30
 II 場 所 ビーコンプラザ 小会議室32
 III 出席者 学会長 小澤秀樹
 理事長 多田羅浩三
 理 事 相澤好治 岩尾總一郎
 小倉敬一 金川克子
 北川定謙 木根渕英雄
 小林廉毅 小林秀資
 近藤健文 佐柳 進
 嶋本 喬 田中平三
 角田文男 中川秀昭
 能勢隆之 二塚 信
 三浦宜彦 宮武光吉 (20人)
 監 事 高石昌弘 平山朝子 (2人)
 委任状提出者 副会長 吉川 暉 安倍一郎
 秋吉豊利
 理 事 阿彦忠之 後藤 武
 伊達ちぐさ 鳥山 皓
 松田 朗 (8人)
 以上 現在理事数28人 出席理
 事20人 委任状提出理事8人

オブザーバー

- 次期学会長 鈴木庄亮 (群馬大学医学部公衆衛
 生学教授)
 次々期学会長 實成文彦 (香川医科大学人間環
 境医学講座衛生学公衆
 衛生学教授)
 福永一郎 (香川医科大学人間環
 境医学講座衛生学公衆
 衛生学助教授)
 北窓隆子 (香川医科大学人間環
 境医学講座衛生学公衆
 衛生学講師)
 大森敏功 (香川県健康福祉部医
 務福祉総務課主幹)
 松原文士 (香川県健康福祉部医
 務福祉総務課係長)

学会規定12条1項による定数に達したので、多田羅理事長が議長となり開会を宣した。議事に先

立ち理事長から挨拶があった。

議事録署名人選出

議事録署名人に、小林秀資、近藤健文両理事が指名された。

議 事

第1号議案 第58回(平成11年度)日本公衆衛生学会総会について

小澤学会長から歓迎とお礼の挨拶の後、明日から開催される総会についての説明があった。また、総会運営について各理事に協力をお願いしたい旨の依頼があった。

以上により、本議案は了承された。

第2号議案 第59回(平成12年度)日本公衆衛生学会総会について

鈴木次期学会長から前回の理事会以降新たに審議することは特にないが、第59回総会まであと1年になり、開催に向けて着実に準備を進めたい旨の説明があり、本議案は了承された。

第3号議案 第60回(平成13年度)日本公衆衛生学会総会について

多田羅理事長から第60回日本公衆衛生学会総会学会長を香川医科大学人間環境医学講座衛生学公衆衛生学教授の實成文彦先生にお願いし、香川県高松市で開催することは、前回理事会で了承されたので、本日午後開催の評議員会、明日開催の総会に諮る旨の提案があり、了承された。

また、實成教授から大分の総会を参考にして準備を進めたい旨の挨拶があった。

以上により、本議案は了承された。

第4号議案 監事の推薦について

多田羅理事長から現監事の任期が本総会終了日までのため、新監事として、古市圭治先生、平山朝子先生を推薦したい旨提案があり、この理事会において承認され次第、本日午後開催の評議員会に諮りたいとの説明があり、了承された。

第5号議案 委員会について

1. 編集委員会について

嶋本理事から以下の説明があった。

現編集委員の任期が今年の12月までであり、約半数の編集委員が交代することとなる。新編集委員候補者については、新旧編集委員長と担当理事で、地域と専門分野を考慮し選出したので、ご審議いただきたい。査読委員については、来年3月までの任期となっており、約半数の委員が交代す

る予定である。編集の電子化については現在検討を続けている。電子化は時代の趨勢として避けられないことで、部分的にでも進めていきたいが、科学技術振興事業団の事業に参加するかどうかは、編集委員会で協議した上必要があれば、会誌検討委員会において協議のうえ決定したい。

なお、田中理事から他学会の編集の電子化について説明があり、本学会と関連する学会の中には現時点での電子化は断念した学会があり、電子化を進めるためには編集方法も変更する必要が出てくるとの発言があった。

2. 地域保健と人材委員会について

多田羅理事長から「地域保健と人材委員会」を分割し、「地域保健委員会」と「公衆衛生人材委員会」の2つの委員会をつくることとし、委員長には二塚理事と阿彦理事にお願いしたく、委員会構成は評議員を中心に選出した旨、説明があった。

二塚理事からは「公衆衛生人材委員会」として公衆衛生専門職のあり方、資格のあり方、スクールオブパブリックヘルス構想等について検討したい旨説明があり、阿彦理事欠席のため「地域保健委員会」については理事長から、保健所の活動を中心に21世紀における地域保健として「健康日本21」等について検討するほか、老人保健についても討議したい旨報告があった。

以上により、本議案は了承された。

第6号議案 評議員会および総会議事について

北川理事から名誉会員の推薦について報告があった。前回の理事会において名誉会員に推薦することに決定した榊孝徳先生はこの10月4日にご逝去のため、推薦に含めないことにした。

近藤理事から資料に基づき評議員会の進行および総会議事について確認が行われ、原案どおり了承された。

報告事項

1 委員会報告

1) 編集委員会報告

嶋本理事から評議員会における編集委員会報告事項の確認、明日の拡大編集委員会の開催について報告があった。

2) 感染症対策委員会報告

角田委員長から評議員会において行う感染症対策委員会報告事項の確認と、これまでの委員会の

活動をまとめ、機関誌の近刊号に掲載予定である旨報告があった。

3) 保健医療福祉委員会報告

多田羅理事長から評議員会において行う保健・医療・福祉委員会報告事項の確認があった。

2 後援名義の使用の依頼について

近藤理事から次の団体の後援名義の使用について許可した旨報告があった。

第27回建築物環境衛生管理全国大会

(財)ビル管理教育センター

第32回全国精神障害者家族大会(山形大会)

(財)全国精神障害者家族会連合会

3 その他

近藤庶務担当理事から中富健康科学振興財団の研究者顕彰に岐阜大学名誉教授の館正知先生を推薦した旨報告があった。

以上で議事を終了し、多田羅理事長が閉会を宣した。

平成11年度日本公衆衛生学会評議員会議事録

I 日時 平成11年11月19日(火)13:00~14:00
II 場所 ビーコンプラザ 小会議室31
III 出席者 99人 委任状提出者99人 合計198人(現在員数260人)

学会規定第15条2項による定足数に達した旨事務局から報告があった後、小澤学会長が、議長となり開会を宣言した。議事に先立ち小澤学会長から歓迎の挨拶と、多田羅理事長から挨拶があった。

議事録署名人には、岩田弘敏評議員と二塚 信評議員が指名された。

報告事項

1. 平成10年度会務報告

近藤理事から資料に基づき、学会庶務に関する事項、学会総会、奨励事業、学会機関誌発行等の事業全般について報告があった。

2. 委員会報告

1) 編集委員会報告

嶋本理事から次のとおり報告があった。

編集委員会は毎月1回開催し、機関誌も順調に発行している。平成10年度の投稿原稿数は148編でありその処理状況は、前年度以前の投稿分をふ

くめて採用98編、不採用19編、審査継続中99編となっている。投稿から掲載までの期間は、平成9年度10.1カ月であったが、10年度は9.5カ月になり、若干短くなった。最近の傾向として老人保健関連の投稿が多くなっており、査読を行うに当たっては、従来より教育的査読を行うよう努めている。

2) 保健医療福祉委員会報告

多田羅委員長から次のとおり報告があった。

平成10年度は委員会を2回開催し、この委員会のまとめとして委員会報告「新しい地域保健体制について」を機関誌(46巻5号)に掲載した。

3) 感染症対策委員会

角田委員長から次のとおり報告があった。

平成10年度は委員会を5回開催し、感染症新法の制定に伴い以下の点について検討を重ねた。

1. 感染症疫学専門家の養成について
2. サーベイランスについて
3. 予防接種について

4) 地域保健と人材委員会

近藤委員長から次のとおり報告があった。

平成10年度は3月に準備委員会を開催した。

今年度にはこれまでに委員会を3回開催している。

5) 会誌検討委員会

近藤委員長から次のとおり報告があった。

委員会を5月に開催し、12月に会員名簿を作成した。

3. 第10回役員選挙報告

小澤選挙管理委員長から次のとおり報告があった。

第10回役員選挙は平成10年度と11年度にわたって行われた。選挙管理委員会は学会規定に基づき構成され、選挙日程は告示のとおり執り行われ、新評議員・理事長・理事は評議員会資料の名簿(機関誌46巻9号に掲載)のとおりである。なお、規定により新評議員の任期は本年7月1日から平成14年6月30日まで、新理事長・新理事の任期は本年9月1日から平成14年8月31日までとなっている。

4. その他

1) 中富健康科学振興財団の顕彰について

近藤理事より中富健康科学振興財団から平成10年度健康科学の発展に功績のあった研究として倉

恒匡徳氏が顕彰された旨報告があった。

2) 奨励事業について

小澤学会長から平成11年度の奨励事業について次のとおり報告があった。

奨励賞候補者は評議員の推薦が必要要件であり、奨励事業は学会としても力を入れている。平成11年度は、7人の理事により構成されている奨励賞選考委員会において、5人の候補者について厳正に審査した結果、高原康光氏、北村明彦氏、瀧澤利行氏、藤内修二氏の4人を選考した。明日開催の学会総会において奨励賞を贈呈し、業績の発表を行っていただく予定である。

3) その他

タバコに関する委員会設置の提案があり、今後理事会で検討することとした。

議事

第1号議案 平成10年度収入支出決算(案)について

宮武理事から、資料に基づき決算(案)について次のとおり説明があった。

1) 収入については会員数は前年度とほぼ同数であるが、昨年から会費の入金管理を徹底したことにより、前年度の未納の会費が9年度より少なかったため、その相当額の収入が減少している。

2) 支出については資料のとおりであるが、予算額と差がある項目については平成11年度の補正予算に反映させたい。

高石監事から監査報告の後、本件について審議された結果原案どおり承認されたので、その内容を機関誌に掲載することとされた。

第2号議案 平成11年度収入支出補正予算(案)について

宮武理事から、資料に基づき同補正予算(案)について次のとおり説明があった。

1) 平成10年度の繰越金が相当額あるため、昨年同様財政調整積立預金として、積み立てた。

2) 今後の支出見込みを勘案し、選挙費用積立預金は十分余裕があるので選挙費用積立預金支出へは支出しないこととし、10年度の名簿作成費が予算額を上回ったので、会員名簿積立預金支出を増額した。

以上の説明の後、審議の結果承認された。

第3号議案 平成12年度事業計画(案)ならびに収入支出予算(案)について

1) 近藤理事から資料に基づき、平成12年度の事業計画(案)としての諸会議、第59回学会総会、奨励事業、会誌の発行、委員会等について説明があった。

2) 宮武理事から資料に基づき、平成12年度の収入支出予算(案)について、収入は会員数を7,100人として計上し、支出は従来どおりの予算としたとの説明があった。

以上の説明の後、審議の結果原案どおり承認された。

第4号議案 監事の推薦について

多田羅理事長から監事の任期が本総会で終了になるため、先程の理事会で新監事として国立公衆衛生院顧問の古市圭治先生と千葉大学教授の平山朝子先生が推薦され、評議員会に諮ることとなった旨説明があった。

審議の結果原案どおり承認された。

第5号議案 名誉会員の推薦について

北川理事から、理事会で承認された次の5人を名誉会員に推薦したい旨の提案がなされ承認され、明日開催の総会に諮ることになった。

坂本 弘氏、重松峻夫氏、高石昌弘氏、辻林嘉平氏、三好 保氏

第6号議案 第60回(平成13年度)日本公衆衛生学会総会について

多田羅理事長から、平成13年度の第60回学会総会は實成文彦香川医科大学教授に学会長をお願いし、香川県高松市において開催したい旨提案がなされ、承認されたので、明日開催の総会に諮ることとなった。

以上で議事を終り、鈴木庄亮次期学会長、實成文彦香川医科大学教授から挨拶があった後、議長が閉会を宣した。

平成11年度日本公衆衛生学会総会議事録

I 日 時 平成11年10月20日(水)10:00~10:15

II 場 所 ビーコンプラザ

学会規定第19条により小澤秀樹学会長が議長となり開会を宣した。

総会議事に先立ち多田羅浩三理事長から、小澤学会長をはじめ大分県関係者に対する謝辞を含めた挨拶があったのち、議事に入った。

III 議 事

会務報告

近藤理事から、平成10年度の学会会員、名誉会員、役員会等の庶務に関する事項についての報告、会誌の発行状況、平成10年度の収支決算について一括報告がなされ、収支決算については会誌に掲載する旨の報告があった。

また、高石昌弘監事から監査報告があった。

第1号議案 名誉会員の推薦について

多田羅理事長から、学会規定に基づく名誉会員の推薦内規をもとに選考された次の5人について、略歴を紹介のうえ名誉会員に推薦したい旨提案があり、満場一致で承認された。

坂本 弘氏 三重産業保健推進センター

重松峻夫氏 福岡大学名誉教授

高石昌弘氏 大妻女子大学人間科学研究所長

辻林嘉平氏 国民健康保険中央会

三好 保氏 徳島大学名誉教授

第2号議案 第60回(平成13年)日本公衆衛生学会総会について

多田羅理事長から、来年の学会総会は平成12年10月18, 19, 20日の3日間、鈴木庄亮群馬大学教授に学会長をお願いして開催することとなっており、一任されていた副会長には、家崎 智群馬県医師会長、大平良治群馬県保健福祉部長、林弘二群馬県環境生活部長に就任いただいた旨報告があった。また平成13年の第60回学会総会については、昨日の評議員会において審議された結果、学会長は實成文彦香川医科大学教授をお願いし、香川県高松市において開催したい旨提案がなされ、満場一致で承認された。

なお、副学会長については学会長ならびに理事会に一任された。

以上で総会の審議を終了し、鈴木次期学会長と實成次々期学会長から挨拶があった後、議長が閉会を宣した。

平成10年度収入支出決算

1. 平成10年度収入支出決算書

平成10年4月1日～11年3月31日

(単位: 円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
(収入の部)				
1 会員会費収入	56,800,000	62,632,000	△5,832,000	8千円×8,389人 (10年度7,177人・57,416,000) (9年度 652人・5,216,000)
2 会誌掲載料収入	5,500,000	5,576,910	△76,910	
3 会誌投稿料収入	550,000	705,000	△155,000	
4 会誌広告料収入	1,800,000	2,352,000	△552,000	
5 助成金収入	200,000	200,000	0	日本医学会
6 雑誌販売収入	1,200,000	1,582,400	△382,400	雑誌代金
7 特定預金取崩収入	3,000,000	3,479,485	△479,485	
1) 会員名簿作成積立預金取崩収入	3,000,000	3,000,000	0	
2) 選挙費用積立預金取崩収入		479,485	△479,485	
8 雑収入	300,000	369,836	△69,836	受取利息等
当期収入合計(A)	69,350,000	76,897,631	△7,547,631	
前年度からの繰越金	13,210,746	13,210,746	0	
収入合計(B)	82,560,746	90,108,377	△7,547,631	
(支出の部)				
管理費	26,190,000	25,272,638	917,362	
1 会議費	460,000	152,003	307,997	
1) 理事会費	260,000	43,583	216,417	会場費, 資料作成費等
2) 評議員会費	100,000	59,220	40,780	会場費, 資料作成費等
3) 会議費	100,000	49,200	50,800	
2 旅費交通費	2,000,000	1,631,030	368,970	役員, 職員旅費
1) 理事会出席旅費	1,400,000	1,105,230	294,770	
2) その他旅費交通費	600,000	525,800	74,200	
3 通信運搬費	1,300,000	1,186,541	113,459	事務用郵便料, 電話料
4 消耗品費	350,000	433,015	△83,015	事務用消耗品費
5 印刷製本費	600,000	537,990	62,010	
6 貸借料	100,000	103,005	△3,005	
7 支払手数料	500,000	507,746	△7,746	振込手数料
8 諸謝金	700,000	482,174	217,826	
9 事務委託費	19,880,000	19,880,000	0	日本公衆衛生協会
10 雑費	300,000	359,134	△59,134	
事業費	41,320,000	43,440,041	△2,120,041	
1 奨励事業費	500,000	307,162	192,838	表彰, 選考費等
2 会誌発行費	36,820,000	39,364,023	△2,544,023	
1) 編集費	4,320,000	4,646,680	△326,680	委員会費用, 査読依頼費等
(1) 会議費	300,000	310,985	△10,985	
(2) 旅費交通費	1,100,000	1,214,660	△114,660	
(3) 通信運搬費	900,000	940,292	△40,292	
(4) 消耗品費	10,000	29,169	△19,169	
(5) 印刷製本費	710,000	843,975	△133,975	
(6) 諸謝金	1,300,000	1,307,599	△7,599	
2) 会誌作成発送費	28,500,000	29,967,198	△1,467,198	
(1) 印刷製本費	20,000,000	21,911,230	△1,911,230	製本費, 版下作成費等
(2) 通信運搬費	8,000,000	7,622,318	377,682	
(3) 雑費	500,000	433,650	66,350	
3) 会員名簿作成費	4,000,000	4,750,145	△750,145	
3 調査活動費	2,000,000	1,768,856	231,144	委員会活動費
4 総会負担金	2,000,000	2,000,000	0	総会負担金
選挙関係費	500,000	479,485	20,515	
特別積立預金支出	12,500,000	12,591,505	△91,505	
1) 選挙費用積立預金支出	500,000	500,000	0	
2) 財政調整積立預金支出	12,000,000	12,000,000	0	
3) 利息繰入金	0	91,505	△91,505	
予備費	2,050,746	0	2,050,746	
当期支出合計(C)	82,560,746	81,783,669	777,077	
当期収支差額(A)-(C)	△13,210,746	△4,886,038	△8,324,708	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	8,324,708	△8,324,708	

2. 貸借対照表

平成11年3月31日現在
(単位:円)

科 目	金 額	額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	272,509	
普通預金	5,007,878	
振替貯金	1,046,131	
未収入金	1,358,676	
前払金	2,000,000	
流動資産合計		9,685,194
2 固定資産		
電算機等備品	1,439,734	
総会運営基金	3,516,821	
選挙費用積立預金	6,603,913	
備品購入等積立預金	7,826,290	
財政調整積立預金	24,041,428	
固定資産合計		43,428,186
資産合計		53,113,380
II 負債の部		
1 流動負債		
前受金	1,236,000	
仮受金	124,486	
流動負債合計		1,360,486
負債合計		1,360,486
III 正味財産の部		
正味財産		51,752,894
(内 当期正味財産増加分)		7,613,962
負債及び正味財産合計		53,113,380

3. 積立預金収支の部

平成11年3月31日現在
(単位：円)

1) 総会運営基金

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	3,500,000	次年度繰越金	3,516,821
受取利息	16,821		
計	3,516,821	計	3,516,821

2) 選挙費用積立預金

(単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	6,571,030	選挙費	479,485
10年度繰入金	500,000	次年度繰越金	6,603,913
受取利息	12,368		
計	7,083,398	計	7,083,398

3) 備品購入等積立預金

(単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	7,805,402	次年度繰越金	7,826,290
受取利息	20,888		
計	7,826,290	計	7,826,290

4) 財政調整積立預金

(単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	12,000,000	次年度繰越金	24,041,428
10年度繰入金	12,000,000		
受取利息	41,428		
計	24,041,428	計	24,041,428

監査報告

平成10年度日本公衆衛生学会事業報告書及び収入支出決算書に基づいて会計帳簿、証憑書類、預金通帳、関係書類等をもとに監査した結果、業務ならびに会計処理が適正に運営・管理され、資産が貸借対照表どおり管理されていることを確認したので報告します。

平成11年7月12日

監事

高石昌弘 ㊟

監事

平山朝子 ㊟